ベトナム株ファンド
長期成長ストーリーを持つ国、ベトナムで成長銘柄に投資

お伝えしたいポイント

2018年6月29日

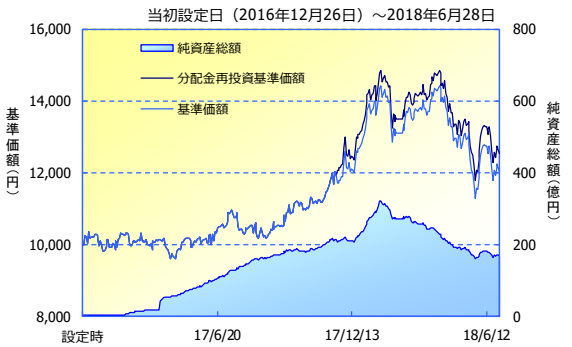
- ベトナム株式市況は米ドル高や米中貿易摩擦への警戒感などから軟調な展開
- ベトナム経済は引き続き好調
- 今後の見通しと運用方針　～中長期的な株式市場の上昇が見込まれる中、利益成長銘柄を追う

ベトナム株式市況は米ドル高や米中貿易摩擦への警戒感などから軟調な展開

ベトナム株式市況は、2018年4月中旬から5月下旬にかけて、軟調な展開となりました。代表的株価指数であるVN指数で4月9日に史上最高値を付けた後、利益確定売りに加えて、大型の新規公開・上場（IPO）を控えた換金売り、米ドル高に伴う資金流出懸念などが要因と考えられます。

5月末以降は、米朝首脳会談の実施見通しや、米中貿易摩擦懸念の後退などから投資家心理が改善し反発しました。しかし6月中旬以降は、米中貿易摩擦や米ドル高などが再度懸念材料となり、他のアセアン株式市場と歩調を合わせて上値が重い展開となりました。

基準価額の推移



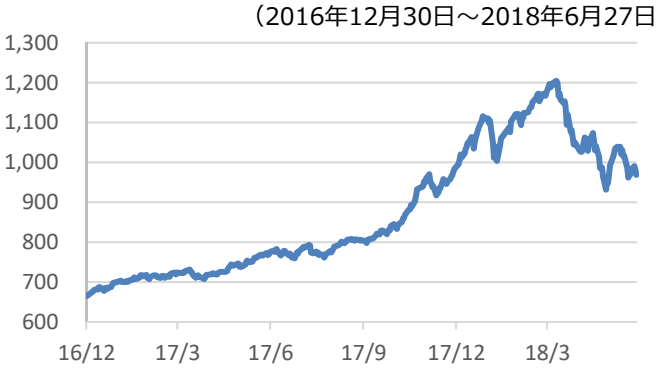
※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

ベトナム経済は引き続き好調

ベトナムの経済は引き続き好調に推移しています。景気動向の先行指数として注目される日経製造業PMI（購買担当者景気指数）は5月に季節調整済みベースで53.9となりました。4月（52.7）から上昇、2015年12月以降30ヵ月連続で好不調の基準となる50を上回っています。インフレ率が落ち着いた水準で推移していることも好材料です。ベトナム・ドンに関しても、他のアセアン通貨に比べて、対米ドルで比較的安定した水準で推移しています。

ベトナムVN指数の推移

（2016年12月30日～2018年6月27日）



※ベトナムVN指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はホーチミン証券取引所に帰属します。

（出所）ブルームバーグ

当資料のお取り扱いにおけるご注意
■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
販売会社等についてのお問い合わせ⇒　大和投資信託　フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00 ）　HP http://www.daiwa-am.co.jp/

大和投資信託
Daiwa Asset Management

今後の見通しと運用方針　～中長期的な株式市場の上昇が見込まれる中、利益成長銘柄を追う

今後の株式市況については、短期的には米中貿易摩擦や米国長期金利上昇などを背景に利益確定の売り圧力が続き、変動が大きい展開が続く可能性があると考えています。しかし、上述のように良好なマクロ経済環境下で企業業績の成長が見込まれているほか、株価バリュエーション面に関しても、ここもとの株価下落により徐々に魅力的な水準になっているとみています。

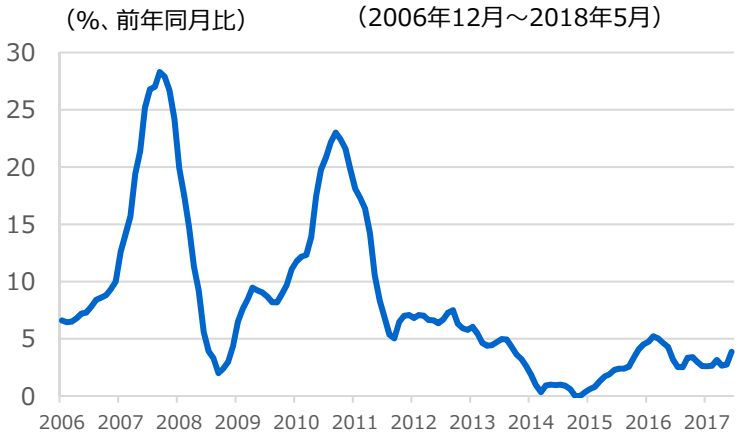
中長期では、インフレ率と為替が落ち着いた状況にある中で、GDP（国内総生産）や企業業績などファンダメンタルズは引き続き好調に推移するとみていることから、利益成長に沿った堅調な展開が期待できると考えています。

またIPOや政府保有株の売り出し、外国人投資家保有上限引き上げなど資本市場の発展を後押しする動きも続くとみており、支援材料になると考えています。7-9月期に海外自動車メーカーと合弁企業を運営するVEAM社のIPO、2018年内に大手消費関連企業であるベトナム乳業（ビナミルク）やサイゴンビール・アルコール飲料総公社の政府保有株売却などが予定されており、投資家の注目を集めると考えています。

当ファンドの運用につきましては、経済情勢や業界動向などの分析を行いつつ、銘柄選別に注力する方針です。個別銘柄では、力強い利益成長性を持ち株価バリュエーションに過熱感がない銘柄を選好するとともに、IPOや政府保有株売り出しによって国際的な株価指数に新たに採用される可能性があるような大型銘柄に注目しています。

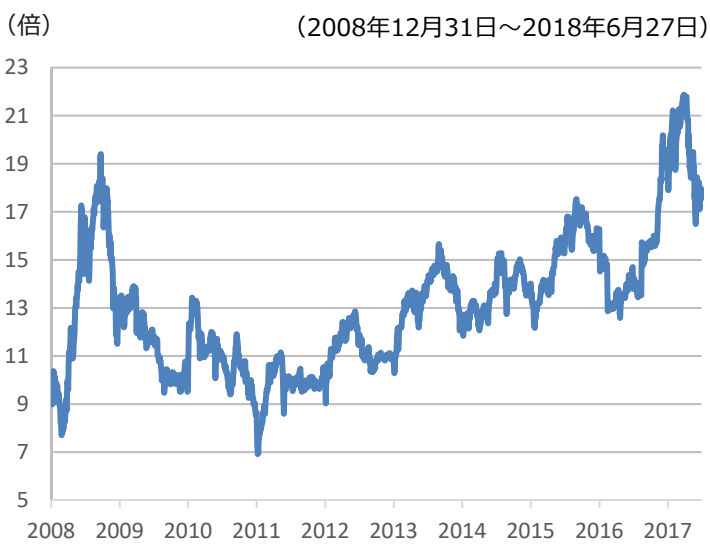
以上

ベトナム　インフレ率の推移



（出所）ブルームバーグ

ベトナムVN指数の予想PER（株価収益率）



（出所）ブルームバーグ

ベトナム株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

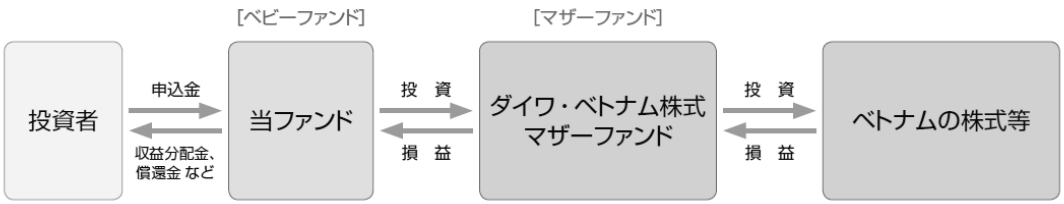
ファンドの目的・特色

ファンドの目的

●ベトナムの株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. ベトナムの株式等に投資します。
   ※株式…DR（預託証券）を含みます。
   ◆株式への投資にあたっては、経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業の財務状況、成長性、株価バリュエーション、流動性等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。
   ◆ベトナムの株価指数に連動するＥＴＦ（上場投資信託証券）およびベトナムの株価指数の値動きに償還価格が連動する債券(株価連動債)に投資を行なう場合があります。
2. ベトナムの株式等の運用は、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドが行ないます。
   ◆マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。
   ◆ベトナム株式への投資にあたっては、サイゴン証券株式会社の助言を受けます。
3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。



※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク、信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」
※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ベトナム株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.24%（税抜3.0%）	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	―
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用（信託報酬）	年率 1.7604% （税抜 1.63%）	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：大和投資信託 Daiwa Asset Management

商号等　大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第352号

加入協会　一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

ベトナム株ファンド　取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
髙木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○		○
奈良証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第25号	○			
日の出証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第31号	○			
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第24号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。